

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

平成27年度のえりも地区連携型中高一貫教育の取組から



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員会副委員長
(えりも町立えりも中学校長)

松田 拓美

えりも町の皆様には、えりも中学校・えりも高等学校両校の連携教育事業に対しまして、日頃より多大なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、発展期と位置づけた平成27年度えりも地区連携型中高一貫教育においては、学力向上を軸としてこれまで以上に連携教育の発展・充実をめざした取組や活動を進めており、2学期も『キャリア教育・進路学習』を中心とした様々な取組が行われました。

2学期に行われたキャリア教育・進路学習にかかわる取組としては、「えりも高校体験入学」・「中高授業交流の実践」「職業別ガイダンス」「キャリア教育と高校生活についてのガイダンス」また人権擁護委員会とリンクさせた「いじめ撲滅宣言」・「高校教員による中学校乗り入れ授業の実施」「中学校・高校でそれぞれの授業公開」「中高一貫総合面談」「高校3年生による進路講話」などがあげられます。「キャリア教育・進路学習」は、「生徒が自己の生き方を考え、主体的にキャリア（進路）を選択・決定し、生涯にわたって自己をよりよく生かしていく事のできる能力・態度を育成する」ことを目標として行われており、高校選択だけでなく将来の職業選択や生涯を見通した生き方を考えさせ明確にすることにより、個々の生徒の学習意欲の向上、基礎学力の定着、家庭学習の習慣化が図られていくものと考え、取り組まれている教育活動でもあります。

今年度も行われた中学3年生対象の「高校3年生による進路講話」においては、大学・専門学校・公務員・一般就職と進路先が決定したえりも高校3年生4人による講話がありました。4人の高校生それぞれが、「自分の進路を早期に考え、その目標に向かって努力していたこと。中学3年生もこれからの進路決定に向けてしっかりと自分の考えをもって取り組んで欲しいこと」など、自分の進路が決定するまでに取り組んできたことや体験・苦労したなどが話され、中学3年生にとっては先輩たちからの言葉は、間近に迫った高校選択や入試の取組み等に向けても有意義なものになったように思います。

今後も、「えりもの子」の心身ともに健全な成長ともに個々の適性に応じた進路選択・目標実現が図られるよう中高一貫による様々な取組を着実に進めて参りますので、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

進路講話について

◎12月11日(金)、えりも中学校の3年生を対象としてえりも高校から以下の4名が来校しました。

- 金子 聖奈さん【進学…名寄市立大学看護科】
- 村上 理子さん【進学…さっぽろプライダル専門学校】
- 川村 海愛さん【就職…山崎製パン株式会社】
- 野坂 建太さん【就職…様似町役場、北海道職員】



進路についてのアドバイスをする野坂健太さん

◎中学3年生の感想

「大学・専門学校進学、就職などという進路の知識を得て、自分の将来の視野を広げられました。」
「私も今から努力を重ねて、自分の望んだ進路に進めるようになりたいです。」

第2回中高合同会議開催

(平成27年12月3日 於えりも中学校)

平成16年度にスタートしたえりも中学校とえりも高校の連携型中高一貫教育は今年で12年目を迎えました。中高一貫教育の目的は、主に次の5つです。

- (1) 6年間というゆとりを持って教育活動を推進する。
- (2) ゆとりの中で、基礎基本の定着や、生徒一人ひとりに応じた指導をする。
- (3) TT授業(教員2人体制)や少人数指導による学力向上をはかる。
- (4) 総合的な学習の時間の活用により、郷土や環境問題への理解を深め、社会性を育成する。
- (5) 少子化の中、特別活動・部活動の活性化を図る。

* (1)～(5)は平成16年、平成25年実践報告書から抜粋

これらの目的を達成するため、年3回えりも中・高の教員が一堂に会する中高合同会議が行われます。第2回中高合同会議は、えりも町教育委員会川上教育長の挨拶から始まりました。9月から11月にかけて中高の教員が授業力向上を目的にお互いの授業を参観し、意見交換を行ってきました。今回の会議では中高一貫教育の目的を踏まえた1学期の反省と今後の予定を各部会・教科別に報告し、情報の共有をしました。

現在は、「中高一貫教育講師」により週2回高校の英語科と数学科教員が中学校へ出向き、中学校の英語科、数学科教員とともに授業を行っています。今後とも学力向上のために、中高の教員がお互いに知恵を出し合い、えりも町の教育力向上に寄与するという決意を確認しました。

検定事業、成果着々

えりも町内の児童・生徒の学力向上を目的とし、検定受検を契機に自学自習の習慣を会得させる目的で、えりも町では、漢字検定・英語検定・数学検定の3種類において、児童・生徒への受験料半額補助制度を平成23年度より導入しています。

漢字検定においては、難関の2級を受検する生徒も増えています。今年度は、中学生で合格する生徒もいました。2級の基準は「高校卒業程度」であり、中学生がこの級に合格したことは大きな意味があります。また、英語検定でも、昨年度高校で2級合格者が1名。今年度は中学生に2級合格者が1名出ました。また、準2級の合格者が高校から4名出ています。大変難しい検定ですが、無事合格し、自学自習のモチベーションにつながっています。更なる上位級を目指し、頑張ってください。

各種検定の受検をきっかけに、生徒・児童それぞれが、学習計画を立て、学習に励み、試験慣れをするなど、さまざまなプラスの効果が期待できます。ご家庭におかれましても、えりも町のこの制度の趣旨をご理解いただき、各種検定の受検を応援していただきますようお願いいたします。



漢検・英検・数検における受検者数の推移

	漢検 (計3回)				英検 (計3回)				数検 (計1回)			
	小	中	高	計	小	中	高	計	小	中	高	計
平成24年度	61	36	87	184	/	58	48	106	13	7	1	21
平成25年度	57	36	80	173	/	57	60	117	14	3	5	22
平成26年度	73	37	72	182	/	45	56	101	24	5	3	32
平成27年度	53	26	63	142	/	31	58	89	25	4	3	32